

**FIMF 合同フォーラム 2008 「腸内共生菌と食の機能」**  
**Function of Intestinal Microbiota and Food**  
会告・ホームページ原稿

1. 開催概要

HP : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jbf/fimf/index.html>

会期 : 平成 20 年 11 月 20 日 (木) ~ 21 日 (金)

会場 : 東京大学 安田講堂

大会長 : 上野川修一 (日本大学)

参加費 : 一般 事前登録 : 8,000 円 当日 : 10,000 円  
学生 事前登録 : 4,000 円 当日 : 5,000 円  
※ ホームページから参加登録を受付いたします。

合同主催 : (財) 日本ビフィズス菌センター  
日本乳酸菌学会  
日本食品免疫学会  
日本動物細胞工学会  
(社) 日本生物工学会乳酸菌・腸内細菌工学研究部会

協賛・後援 : (独) 科学技術振興機構  
(財) バイオインダストリー協会  
(社) 日本農芸化学会  
(社) 日本薬学会  
(社) 日本獣医学会  
日本細菌学会  
(社) 日本畜産学会  
日本ゲノム微生物学会

大会事務局 : (有) アイペック内 FIMF 合同フォーラム事務局  
東京都豊島区巣鴨 1-24-12  
TEL : 03-5978-4067  
FAX : 03-5978-4068

## 2. プログラム

特別講演 11月21日(金)

**Toll-Like Receptor と粘膜免疫**

審良 静男 (大阪大学)

シンポジウム 11月20日(木)

セッション1. 腸内共生菌の機能、食品機能に関する研究動向

**食と腸内共生菌**

上野川 修一 (日本大学)

**Research for the 21st Century : Can We Draw a Blueprint of the Bowel Ecosystem ?**

G. Tannock (University of Otago, New Zealand)

**Interactomics in the Intestine**

E. Zoetendal (Wageningen University, The Netherlands)

セッション2. セルシグナリング

**Bacteria-Epithelium Cross-Talk**

N. N. Nanthakumar (Harvard Med. School, USA)

**乳幼児期の腸内フローラの群集構造と宿主免疫系への影響**

中山 二郎 (九州大学)

セッション3. 腸内共生菌のメタゲノム

**メタゲノム解析から見える腸内細菌叢の全体像**

服部 正平 (東京大学)

**MetaHIT, The European Project on Metagenomics of the Human Intestinal Tract**

D. Ehrlich (INRA, France)

**What Have Been Revealed After Whole Genome Analysis of Bifidobacterium and Lactobacillus?**

R. D. Pridmore (Nestle, Switzerland)

シンポジウム 11月21日(金)

セッション4. 粘膜免疫

**Intestinal Microbiota and Allergy**

B. Bjorksten (Karolinska Institutet, Sweden)

**C. O. Elson (University of Alabama at Birmingham, USA) \***

\*タイトルは、決定次第掲載をいたします。

セッション5. 腸内共生菌の代謝と宿主

ビフィズス菌のオリゴ糖代謝に関わる酵素の解析

山本憲二 (京都大学)

腸管レセプター、特に短鎖脂肪酸受容体の大腸機能制御に対する役割について

桑原厚和 (静岡県立大学・環境科学研究所)

**Analysis of Carbohydrate Fermentation by Intestinal Microbiota Using TIM-2**

K. Venema (TNO, The Netherlands)

パネルディスカッション 11月21日(金)

「腸内共生菌と食の機能」研究 –これからどうする日本?

司会：宮田 満 (日経BP社)